

## モンテッソーリ教育「敏感期」について ②

6月のコラムでは、「敏感期」について代表的な種類と時期のことをお知らせしました。今月はそれぞれの敏感期について、簡潔にお伝えします。

### ■代表的な敏感期の種類と時期、現れる姿

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| ・言語の敏感期 0～6歳   | ・ちいさいものへの敏感期 1～3歳 |
| ・運動の敏感期 0～6歳   | ・礼儀と作法の敏感期 3～6歳   |
| ・感覚の敏感期 0～6歳   | ・数の敏感期 4～6歳       |
| ・秩序の敏感期 6か月～4歳 | ・文化の敏感期 6歳～       |
- \*年齢はあくまで目安で個人差があります。

#### ■言語の敏感期 0～6歳

「聞く」「話す」「読む」「書く」ことが楽しくて仕方がない時期。  
生まれる前から声を聴いて溜め込んでいる。  
・絵本を繰り返し読んでとせがむ  
・「これなに?」「なんで?」と質問を繰り返す  
・友達に手紙を書く など

#### ■運動の敏感期 0～6歳

生活に必要な運動能力を獲得する時期。体操やサッカーなどの体育的なことではなく歩く・運ぶ・折るなどの動作や動きのこと。あらゆる動きを獲得するため繰り返し動く。  
・重いものを押す、運ぼうとする  
・折り紙や縫いさしを好む など

#### ■感覚の敏感期 0～6歳

五感（視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚）を刺激するものに対して、強い興味を抱く時期。  
・歩きながら壁を触る  
・ものを叩いて音を出す  
・味の違いがわかる（好き嫌いがでる）など

#### ■秩序の敏感期 6か月～4歳

順番・場所・習慣・所有物などに強くこだわる時期。「いつもと同じ」だと安心し落ち着く。  
・いつもと違う道を通ると怒る  
・自分なりのルーティーンでやりたがる  
・同じものや大きさ順に並べる など

#### ■数の敏感期 4～6歳

数を数えたい、読みたいなど数字に興味が出てくる。多い、少ないなど量にもこだわる時期。  
・お風呂の中で数を数える  
・身近にある数字を読む など

#### ■文化の敏感期 6歳～

動植物、宇宙、地理などさまざま分野に興味・関心を示し、世の中をもっと知りたいという時期。  
・国旗と国の名称を覚える  
・図鑑を見るのが好きになる など

#### ■ちいさいものへの敏感期 1～3歳

小さいものを見て喜び感動する時期。  
・小さいゴミや小石を拾う  
・虫を夢中になって見る など

#### ■礼儀と作法の敏感期 3～6歳

挨拶やマナーなどの社会性、道徳心などを身につける時期。大人の真似をしたがる。  
・「おはよう」「ありがとう」を言う など

子どもが何かに夢中になったりこだわったりするのは、自己教育力を発揮しているときです。大人からするとどうでもいいと思うことでも、子どもにとっては大切な成長の機会です。満足いくまで行くと、子どもは本当に満ち足りた表情を浮かべます。子どもの成長に欠かせない敏感期、簡単ご紹介ですが参考にさせていただければ幸いです。（飯塚）